

# 第 10 回 (2016 年) 産学交流企画 活動内容報告

島根県技術士会青年部会 和泉孝嗣

日時 2014/11/19(土) 10 時半～17 時

場所 松江工業高等専門学校 441・442 教室

## 1. 概要

青年部会の活動として、島根大学・松江工業高等専門学校との産学交流を企画・実施しました。本交流企画では、技術士と学生が協力してテーマに沿った課題解決をすることで、課題解決に必要な以下のような能力を学生に身につけさせることを目的としています。

- ・理論的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力  
→班での討論、意見集約手法の実践（ブレインストーミング）、プレゼンテーション
- ・種々の科学・技術・情報を利用して社会のニーズを解決するデザイン能力  
→制約条件下での課題解決
- ・与えられた条件下で計画的に仕事を進め、まとめる管理能力  
→班でのとりまとめ、限られた時間での成果達成参加者

## 2. 参加者

参加者は島根大学 3 年生、松江高専 4 年生、技術士を班長として、参加者を 10 班に分けて企画を進めていきました。今年度は特に松江高専からの参加者が多く、学生の参加者が 50 名となりました。

### 【参加者内訳】

技術士 .....	17 名
島根大学 3 年生（生物資源科学部、総合理工学部） .....	8 名
松江工業高等専門学校 4 年生（環境・建設工学科） .....	42 名
先生（島根大学、松江工業高等専門学校） .....	5 名
合計 .....	72 名

## 3. 企画内容

『自分が住んでいる（いた）地域について考えよう』というメインテーマを掲げ、午前中は班のコミュニケーションを図るためにアイスブレイク、午後からは班別に課題解決を行いました。

## ・ 第 1 部（アイスブレイク）

「自分が住んでいる（いた）地域のオモロイことを挙げてみよう」

自分の考える地域のオモシロを付箋に書き出し、他の人の意見も聞きながら自分の地域のオモシロを再認識してもらう。

## ・ 第 2 部（課題解決）

「〇〇（地域のオモシロ）を広めるゲームを作ろう」

各班で誰か一人の「地域のオモシロ」について、知ってもらうためのゲームを考えてもらう。最終的には iPad を使って各班 5 分間ずつプレゼンしてもらう。

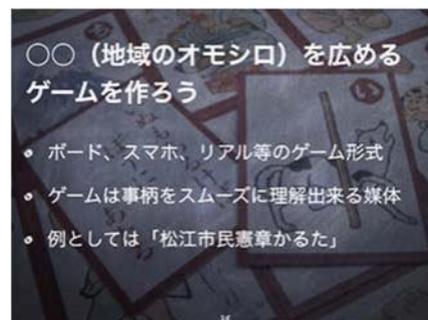


photo1 今年度の課題（第 2 部）

## ・ 昼休み

2 班ずつ昼食を取り、昼食後に「技術士への相談タイム」と銘打ち学生の進路相談会も開催しました。

## 4. 各班の課題解決案

前述の課題を解決するため、各班は 2 時間弱の制限時間内で企画案の取りまとめ、プレゼン資料の作成を行い、プレゼンに望みました。

基本的には、プレゼン資料作成や発表も学生が担当し、技術士は課題解決の方法を指導する等の役割を担いました。

### 【課題解決案】

1 班 心霊スポットから始まる商業戦略  
(松江市 枕木山)

2 班 自販機は神様 (松江市 持田地区)

3 班 来てごしない伊野の町へ  
(出雲市 伊野地区)

4 班 新潟を知ってもらおう (新潟県)

5 班 博多弁を広めるゲームを作るっちゃん (福岡県)

6 班 クイズチャイニーGO! (中華人民共和国)

7 班 枕木山を広める儀式 (松江市 枕木山)

8 班 どんちっちハンター (浜田市)

9 班 平田教習所運転シミュレーションゲーム (出雲市平田町)

10 班 UMIUTTI (松江市島根町)



photo2 iPad でプレゼン

## 【審査結果】

参加者が選ぶ「聴講賞」 ……8班（最優秀）

先生方が選ぶ「優秀賞」 ……9班

アイデア最高「アイデア賞」 ……5班



Photo3 表彰では豪華賞品も

## 5. 感想

今年度は参加者が多く、大変熱気のある討論が行われていました。

課題解決では、ゲームを考えるとという課題に対して「スマホのアプリゲーム」が大部分の班で提案され、また今流行っているVRも提案されるなど、時代の変化を肌で感じました。

昼休みには今年度初めて進路相談会も開催し、技術士の仕事内容の紹介や、地元での就職に対する相談など、年齢が近い青年部会ならではの活動も実施できたと思います。

## 6. その他当日の様子



Photo4 第1部(アイスブレイク)



Photo5 技術士への相談タイム



Photo6 第2部(課題解決)